

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	校外研修2	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム運用コース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間	時間割外		授業形態	実習
教科書/教材	毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	諸岡 瑞香、下川 洋一、鈴木 睦男				実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア	
学習目的							
学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。							
到達目標							
イベント参加前に、ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。 最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。							
教育方法等							
授業概要	校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではこういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。						
注意点	研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回のガイダンスで説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	0%					
	課題	0%					
	レポート	50%	授業内容の理解度を確保するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
平常点	0%						
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			事前に準備しておくべきことを理解できる			
2回	事前準備(1)			出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる			
3回	事前準備(2)			出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる			
4回	事前準備(3)			出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる			
5回	企業説明へ参加(1)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
6回	企業説明へ参加(2)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
7回	企業説明へ参加(3)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
8回	企業説明へ参加(4)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
9回	企業説明へ参加(5)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
10回	企業説明へ参加(6)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
11回	企業説明へ参加(7)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる。			
12回	企業説明へ参加(8)			説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる			
13回	資料作成・発表(1)			校外研修の内容を資料にまとめ、発表する			
14回	資料作成・発表(2)			校外研修の内容を資料にまとめ、発表する			
15回	資料作成・発表(3)			校外研修の内容を資料にまとめ、発表する			